

平成24年度 事業報告書

1. 研究助成事業 35,130千円
- (1) がん研究助成 (公募) 29,500千円
第45回がん研究助成審議会の審査を経て以下のとおり研究助成金を贈呈した。
- | | |
|--------|--------------------|
| 一般課題A | 11名(1課題100万円) |
| " B | 13名(" 50万円) |
| 特定課題 | 4名(" 300万円) |
- (2) 海外派遣研究助成 (公募) 5,630千円
がんに関する国際会議、国際学会への出席者計32人に対し、海外渡航旅費等の助成を行った。
- | | |
|-------|-----|
| アメリカ | 6人 |
| ヨーロッパ | 23人 |
| その他 | 3人 |
| <hr/> | |
| | 32人 |
2. 関係団体助成事業 1,300千円
UICC (国際対がん連合) 等の事業に対して協力助成を行った。
3. 技術者研修助成事業 (公募) 2,500千円
看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等メディカルスタッフ10人に対し、海外研修等の助成を行った。
4. 第3次対がん総合戦略推進事業 (国庫補助事業) 181,408千円
- (1) 外国人研究者招へい事業 (公募) 3,644千円
がん研究プロジェクトに外国の優れた研究者を招へいし、国内の研究機関において国際共同研究を行った。

ドイツ	1人
タイ	1人
アメリカ	1人
スウェーデン	1人
	<hr/>
	4人

(2) 日本人研究者等派遣事業 (公募) 0

(3) 若手研究者育成活用事業 (リサーチ・レジデント制度) (公募)
141,585千円
若手研究者をリサーチ・レジデントとして採用し、第3次対がん総合戦略研究に参画させ、将来のがん研究の中核となる人材育成を行った。
リサーチ・レジデントの採用 31人

(4) 研究成果等普及啓発事業 32,976千円
国際がん研究シンポジウム・国際がん看護セミナーの開催や第3次対がん総合戦略研究の研究成果発表会を研究者向けおよび一般向けにそれぞれ開催した。
また研究の成果を国民にフィードバックするため、各種情報媒体を活用し、がんの知識の普及啓発に努めた。

① 国際がん研究シンポジウム開催事業
米国及びその他の先進諸国から、著名ながん研究者を招き、国内外の研究者による「第25回国際がん研究シンポジウム」を開催し、がんの研究並びに予防・治療の一層の推進を図った
テーマ 「放射線とがん」
期 日 平成24年12月6日(木)～8日(土)
会 場 国際研究交流会館

② 国際がん看護セミナー開催事業
がん患者とその家族を支えるがん看護の向上を図るため、国内外のがん看護関係者による「第13回国際がん看護セミナー」を開催した。
テーマ 「がん医療における継続したがん看護の充実 Part II」
期 日 平成25年1月25日(金)～26日(土)
会 場 国際研究交流会館

③ 研究者向け成果発表会の開催
期 日 平成25年2月18日(月)～19日(火)
会 場 国際研究交流会館

④ 第5回市民公開講演会の開催

テーマ 「がん克服に向けた新たな挑戦
ーがん研究はがん医療の未来へ繋ぐ」

期 日 平成25年3月9日(土)

会 場 国際研究交流会館

(国立がん研究センター研究所のオープンキャンパスも同時開催)

⑤ がん関連各種パンフレットの作成

(5) 研究支援者活用事業(公募) 3,204千円

第3次対がん総合戦略研究の研究者を支援することにより、当該研究の推進に貢献した。

研究支援者の採用 1人

5. 広報活動事業(財団法人 日本宝くじ協会助成事業)

50,593千円

がん研究の成果を国民にフィードバックするため、ホームページの充実や各種冊子を作成し、都道府県、市区町村、学校、保健所及びがん診療連携拠点病院等の医療機関等に配布した。

(冊子名)

○がんを防ぐための新12か条 1,479千部

○～やさしいがんの知識～

予防できる「子宮頸がん」 520千部

○「たばこ」がいらない、これだけの理由。 1,479千部

○～がんとどう付き合うか～

早期発見で治そう「乳がん」 520千部